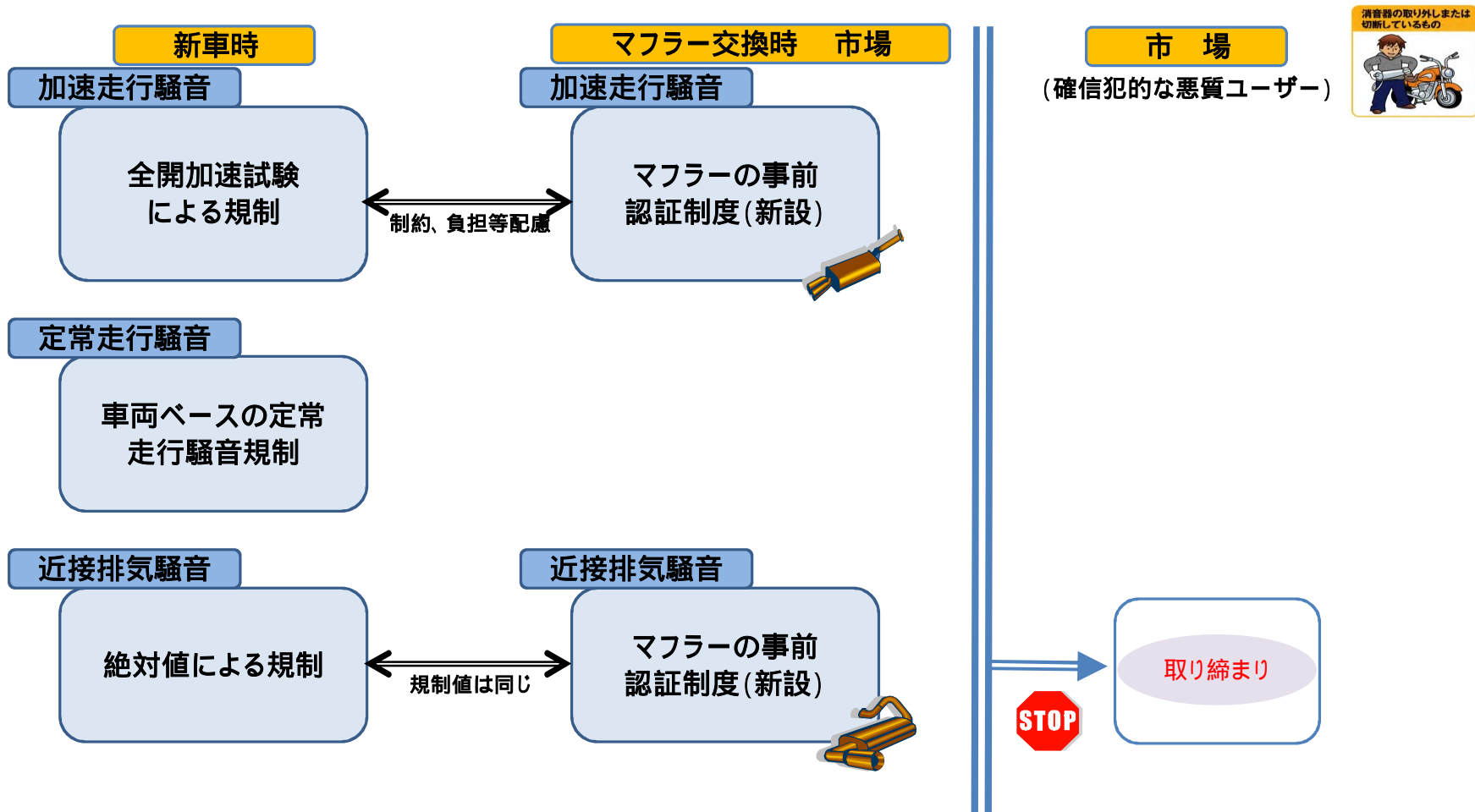


最終答申に向けた全体スケジュール

現行の対策 + 中間答申に基づく新たな対策のイメージ

使用過程車の騒音低減対策として、マフラーの事前認証制度を導入。

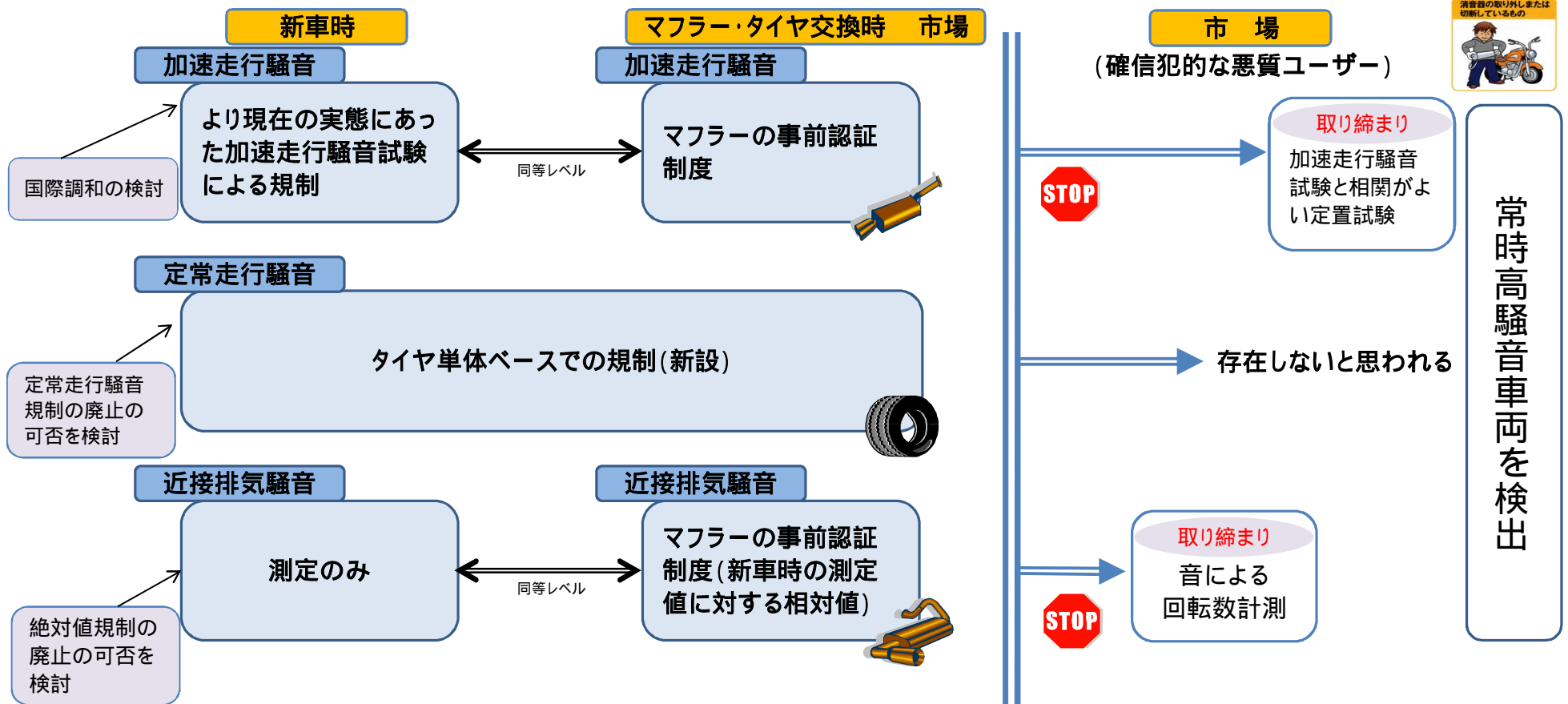


最終答申で全ての検討事項を反映させた場合の対策イメージ

あくまで、議論の参考となるよう事務局が作成したものであり実際には今後の実態調査等によるデータ等に基づき検討され、異なる結論となることもあるものである。

基本的考え方

- ・使用過程時の自動車騒音を新車時よりも増加させない。
- ・新車時の試験方法は現在の走行実態に合ったものとし、その際、国際競争力確保等の観点から国際基準調和を検討。
- ・規制値は環境の改善を前提に、騒音低減技術の効果評価等を踏まえて設定。



最終答申までのスケジュール(予定)

		H20年度(2008年度)	H21年度(2009年度)	H22年度(2010年度)	H23年度(2011年度)	(考えられる選択肢) H23年度以降	
(1) 加速走行騒音規制、定常走行騒音規制の見直し	加速走行騒音規制		<ul style="list-style-type: none"> 走行実態調査 運転領域、相関等調査 	<ul style="list-style-type: none"> 走行実態調査 運転領域、相関等調査 	<ul style="list-style-type: none"> 技術動向調査 試験法、規制値検討 	ECE成立(最速) (遅れる見込み)	
		加速走行騒音規制					
		定常走行騒音規制					
	定常走行騒音規制		<ul style="list-style-type: none"> 市販用タイヤの騒音実態調査 定常とタイヤ単体との関係調査 	<ul style="list-style-type: none"> 市販用タイヤの騒音実態調査 タイヤ単体規制導入効果評価 定常とタイヤ単体、加速との関係調査 	<ul style="list-style-type: none"> タイヤ単体規制導入検討 定常の廃止、存続検討 	定常廃止 定常存続 タイヤ単体規制導入 タイヤ単体規制導入せず	
(2) 近接排気騒音規制の見直し	近接排気騒音規制			<ul style="list-style-type: none"> 相対値規制の実施可能性及び絶対値規制廃止の可否の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 相対値規制導入検討 絶対値規制廃止、存続検討 	近接(絶対値) 近接(相対値) 全開空ぶかし(絶対値) 全開空ぶかし(相対値)	
		近接排気騒音規制(絶対値)					反映
		加速走行騒音試験と相関の良い定置試験方法(全開空ぶかし試験)					騒音試験方法の検討結果、マフラー事前認証制度の状況及び技術的課題を踏まえ、今後の方針を決定
(3) マフラーの事前認証制度の見直し	加速走行騒音規制		制度新設(12月)	規制開始(4月)		(加速) 「(1)」の加速見直しと同じ選択肢 (近接) 「(2)」の近接見直しと同じ選択肢 その他、適用時期、規制値について、新車との差等の検討	
	近接排気騒音規制		マフラーの事前認証制度				
			<ul style="list-style-type: none"> 交換用マフラーの認証取得状況(取得レベル)のフォローアップ。 	<ul style="list-style-type: none"> 交換用マフラーの認証取得状況(取得レベル)のフォローアップ。 交換用マフラーの技術動向調査。 	<ul style="list-style-type: none"> 交換用マフラーの認証取得状況(取得レベル)のフォローアップ。 交換用マフラーの技術動向調査。 新車と合わせて試験方法等を変更することとした場合の試験における制約等調査。 		
(1) 音によるエンジン回転数計測	中間答申		<ul style="list-style-type: none"> 技術動向のフォローアップ 関係機関と調整 	<ul style="list-style-type: none"> 技術動向のフォローアップ 関係機関と調整 一部試験的導入 	一部試験的導入	「最終答申」については検討の進捗状況(特に近接排気騒音規制の見直し、マフラー認証制度の見直し関係)については、時期を分けることもあり得る。	
(2) 研究開発の推進			<ul style="list-style-type: none"> 競争的資金に応募しやすい環境整備 				